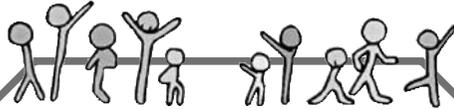




## 祭事・年中行事



### タイ正月ソクラーンを 生き残るために

国際コミュニケーション学部  
加納 寛

タイでは、毎年4月13日になると、銃を持った人々が街にあふれ、相手かまわず撃ちまくることになっている。まあ、「水鉄砲」ってやつだけだね。発射されるのは水なんで、あなたがトイレットペーパーとかで作られていたりしない限り大きな危険はないのだが（カメラやスマホは死ぬかも）、日本の子どもが遊ぶようなチャチな拳銃式の水鉄砲を想像してはいけない。そんなチンケな武器で4月13日のタイの街角という戦場に臨むのは、たかが「ハジキ」だか「チャカ」だかで粹がったヤクザが、小銃や機関銃を持った兵隊さんにケンカを売りに行くような自殺行為である。タイの人々は、ショットガン式の特大の水鉄砲を装備し、大量の水が入る弾倉を備えているぞ！ さらにおとろしい人は、特大バケツに大量の水を入れて掛けまくったりしてくるぞ（ただし初弾を外すと残弾がない上に猛烈な反撃を受けるので悲惨である）！

4月13日は、タイの暦の上での新年、タイ正月ソクラーン（สงกรานต์）である。太陽暦の新年は、タイでも確かに祝日ではあるが、大晦日と元旦だけが休みになるくらいである。私がタイに留学していた時も、1月2日には授業があって悲しかった気が、おっと勉強ができてとつても嬉しかった気がする（涙）。タイでは、12

月に入るとクリスマス（国民の95%は仏教徒だけど）と新年に向けて街が飾り付けられていき、正月気分が盛り上がっていく。もう電飾の派手さといったら！ で、そのままの状態で（クリスマスと新年の飾りつけをはずさないまま）1月に突入し、ちょっとすると1月の後半から2月の前半あたりに中国正月（ตรุษจีน）が来る。タイ国民のうち1割程度を占める中国系にとっては、重要な年中行事である。そんなこんなで2月・3月を過ごしていくと、ついに4月13日にタイ正月が来るわけだ。タイ人、1年の3分の1くらいを新年気分でも過ごしていないか？

そんなタイ人が、私は大好きだ。で、4月13日前後は長期休暇になるので、みんな実家に戻ることにになり、すごい帰省ラッシュになる（バンコクに住んでる人って、ほとんど田舎の人だったのね、というのを実感できる日である。バンコクの街角は、かなり閑散とする）。残った人々は公道に出て水を掛け合いまくるのである。4月はタイでは暑い時期なんで（年じゅうずっと暑いけど、4月はとくに暑い）、水掛けが気持ちよいのは事実である。ただし、外国人だろうとリクルート・スーツで就活中だろうと（タイでそんな時期に就活してるヤツはいないけど）、容赦なく水をぶっ掛けられるので、気をつける！ カメラとかスマホは、防水じゃなかったらホテルなり家なりに置いておけ！

なんで正月に水を掛け合うのかという根本的な疑問であるが、元来は仏像や目上の親族、尊敬する人などの手に少量の水を流して清めをさせていただくという意味があったらしい（現在もその習慣は残っているし、結婚式でも新郎新婦の手に水を流すのが重要な儀礼になってい

る)。んで、そのうちに、ちょうど暑い時期だし、こんなチマチマ水を流してなくてよくね？みたいなことを考えたヤツ（たぶん複数いたはず）が水を掛けまくることを思いつき、だったら水鉄砲とか使った方が効率的じゃね？それもデッカイ水鉄砲の方がよくね？となってきたのだと思われる。その結果、タイ国中の人々（外国人も含む）が参加する壮大な水掛け合戦に発展(?)した次第。興奮しすぎて裸になったり街中なのにピキニで参加したりして逮捕される人もいるので、そこんこは品位を保ってね。

ところが、こんなノンキな記事を書いている一方で、新型コロナ・ウイルスの影響はタイ

にも及び、2020年（タイは仏暦なので2563年）はソクラーンの水掛けが中止されることになってしまった。普段の年であれば、水掛け合戦では人間は（普通は）死なないし、4月13日が終われば壮大な銃撃戦（水だけどね）も終息するのだが、新型コロナ・ウイルスは命に関わる場合もあるし、終息はまだまだ見えてこない。水掛け合戦で毎年にぎわう界隈が、今年は閑古鳥が鳴いていたというから、寂しい限りではある。この日が例年のような大騒ぎにならないように、警察を含む政府機関はかなり周到に準備と広報を行っていたし。今年はソクラーンが延期になって残念ではあるが、まずはこの状況を生き残り、新型コロナ・ウイルス禍が落ち着いてから、また楽しもう！

(この記事は、2020年4月13日に書きました。)



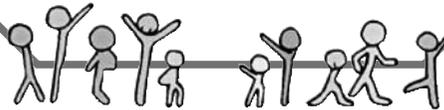
#### 今年のソクラーン中止ポスター

水を掛け合ったり、お出かけしたり、集まって騒いだり、じっちゃんばっちゃんのところに帰ったりするのは中止(งด)。「中止(งด) = 安全(ปลอดภัย)」。「もし中止しないと(ถ้าไม่งด) = ウイルスに感染(ติดเชื้อ) + 法に基づいて処理(ดำเนินการตามกฎหมาย)」されるぞ！(by 国家警察局情報部) なんかプレゼントみたいに描いてあるけど、コウエー・・・

### 夏の風物詩—カンヌ国際映画祭

国際コミュニケーション学部

永田 道弘



文化芸術の国フランスでは一年を通して様々なジャンルのフェスティバルがあります。特に初夏には多くのフェスティバルが開催され、夏のヴァカンスを目の前に人々の心が躍るこの季節の風物詩になっています。今回はそのなかでも世界的に有名なカンヌ国際映画祭を紹介します。例年、カンヌ映画祭は5月の半ばから約2週間、避暑地で有名な南フランスのカヌで開催されます。2020年は残念ながら新型コロナ・ウイルスの影響で通常の開催が断念されてしまい、映画祭を心待ちにしていた多くの映画ファンを落胆させることとなってしまいました。この夏の一大イベントが来年こそは開催されることを心から願ってやみません。

映画祭が開催されるカンヌは南フランスの地